

2026年度 学科別授業科目一覧表 (実務経験表記あり)

課程：工業専門課程

学科：情報処理科/システム運用コース

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
34	データベース演習(SQL) II	2	30	2	必修	実習	有
35	CCNA基礎 I	2	60	4	必修	実習	無
36	CCNA基礎 II	2	60	4	必修	実習	無
37	JavaScript	2	60	4	必修	実習	有
38	C 言語文法	2	30	2	選択	講義	無
39	C 言語演習	2	60	4	選択	実習	無
40	ローコード開発	2	30	2	必修	実習	有
41	アプリケーション演習	2	60	4	必修	実習	有
42	セキュリティ II	2	30	2	必修	講義	有
43	Linux I	2	60	4	必修	実習	有
44	Linux II	2	60	4	必修	実習	有
45	LPIC/LinuC対策 I	2	30	2	必修	講義	有
46	LPIC/LinuC対策 II	2	30	2	必修	講義	有
47	AWS演習	2	60	4	必修	実習	有
48	データサイエンス	2	30	2	必修	講義	有
49	AI基礎	2	60	4	必修	講義	有
50	市場調査 & 要件定義	2	30	2	選択	実習	有
51	卒業制作 I	2	60	4	必修	実習	有
52	卒業制作 II	2	30	2	選択	実習	有
53	Office実務 II	2	30	2	必修	実習	有
54	基本情報科目A対策 II	2	30	2	必修	講義	有
55	基本情報科目B対策 II	2	30	2	必修	講義	有
56	ITパスポート対策 II	2	30	2	必修	講義	無
57	セキュリティマネジメント対策 III	2	30	2	選択	講義	無
58	M O S 対策 III	2	15	1	選択	実習	無
59	一般常識 II	2	30	2	必修	講義	無
60	基礎英語 II	2	30	2	必修	講義	有
61	表現技法	2	30	2	選択	講義	無
62	体育実習 II	2	30	2	必修	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	実習	データベース演習(SQL)Ⅱ		坂井 剛	有	2単位 30時間														
【授業の到達目標及びテーマ】																					
データベースを操作するためのSQLに関する基礎学習と、演習を通じた経験を取得する。 ベンダー資格「ORACLE MASTER Silver SQL 2019」取得を視野に入れた講義内容となる。																					
【講義概要】																					
データベース演習Ⅰで学習した基礎を基にした高度なSQL操作を学習する。 資格「ORACLE MASTER Silver SQL 2019」の取得により本講義は免除となる。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	復習演習（検索、ソート、重複排除）																				
2	復習演習（グループ分け、グループ関数）																				
3	副問合せ文																				
4	表結合（内部結合、外部結合）																				
5	集合演算子																				
6	ウィンドウ関数																				
7	中間試験																				
8	表作成、データ型																				
9	制約とデフォルト値																				
10	データベースオブジェクト（ビュー）																				
11	データベースオブジェクト（インデックス、シーケンス、シノニム）																				
12	ストアドプロシージャ																				
13	データベーストリガー																				
14	データベース設計演習																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>70%</td> <td></td> <td></td> <td>30%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
【教員紹介】																					
大学院出身後、8年間企業においてSEとして業務に携わる。 その後2010年より教員として勤務。 Oracle Master 10g~12c Silver (10g Goldは筆記のみ取得) 所有。																					
【教科書・参考文献】																					
『オラクルマスター教科書 Silver SQL Oracle Database SQL』（翔泳社、ISBN-9784798172361）																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	実習	CCNA基礎 I		菊池 靖	無	4単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】							
コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。							
【講義概要】							
ネットワークが繋がる仕組みを、OSI参照モデルをベースにして各階層ごとに働くプロトコルとその連携を知り、デバイスの設定に反映できるようにする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	CCNA試験とは・コンピュータネットワークとは・OSI参照モデル						
2	PacketTracerの使い方・Ciscoデバイスの基本設定						
3	IPアドレス・IPv6・ICMP						
4	ルータとルーティング・ルータIFのアドレス設定・PCのアドレス設定						
5	スタティックルーティング・デフォルトルートの設定						
6	ルーティングプロトコル・ここまでの復習						
7	中間試験						
8	RIPの設定・デフォルトルートの伝播						
9	2進数・サブネットワーク						
10	VLSM・サブネットの設計・RIPv2						
11	IPv6ルーティング						
12	仮想端末接続・Ciscoデバイスのセキュリティー						
13	データリンク層とイーサネット・シリアル回線						
14	ここまでの復習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	60%			40%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
大学・専門学校で情報系の授業を30年以上担当。Cisco CCNA インストラクター資格を取得済み。							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	実習	CCNA基礎 II		菊池 靖	無	4単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】							
コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。							
【講義概要】							
ネットワークが繋がる仕組みを、OSI参照モデルをベースにして各階層ごとに働くプロトコルとその連携を知り、デバイスの設定に反映できるようにする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Iの復習						
2	スイッチとハブの動作の違い、MACアドレスとは、ARP						
3	スイッチの基本コマンド-ホスト名やパスワード、IP・GW設定など						
4	ポートセキュリティ						
5	STP						
6	ここまでの復習						
7	中間試験						
8	VLAN1						
9	VLAN2, VLAN間ルーティング						
10	ワイルドカードマスク、ACL1						
11	ACL2						
12	NAT						
13	DHCP						
14	ここまでの復習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	60%			40%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
大学・専門学校で情報系の授業を30年以上担当。Cisco CCNA インストラクター資格を取得済み。							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	JavaScript		山田 忍	有	4単位 60時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

JavaScriptの標準仕様を理解し、JavaScriptをWebサイトに組み込むことができるようになる。

【講義概要】

プログラミングの基礎について講義し、JavaScriptの書き方を演習を通して学ぶ。
各講義では授業の理解度を測るために課題の提出を求める。
各自JavaScriptについての研究を行い、発表をLT形式で行う。自身で研究を深めることでより理解を深めることを狙いとする。

回	授業計画及び学習の内容
1	JavaScriptの基本 変数、型、数値の計算、文字列の表現
2	JavaScriptの基本 関数、制御構文、正規表現、演算子
3	データ操作の基本 配列、オブジェクト、JSON、イベント処理
4	非同期処理、通信
5	APIからデータを取得し、使用する
6	アプリケーション制作
7	アプリケーション制作
8	アプリケーション制作
9	アプリケーション制作
10	アプリケーション制作
11	総合演習
12	総合演習
13	総合演習
14	総合演習
15	総合演習

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	20%		20%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

大学院にてコミュニケーションデザイン/グラフィックデザインについて研究。
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事☑

【教科書・参考文献】

いきなりプログラミングJavaScript、オリジナル教材

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	選択	C言語文法		砂賀 勝己	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
C言語の文法について学習する。							
【講義概要】							
文法と合わせ演習科目も実施し、より理解度を深めるようにする							
回	授業計画及び学習の内容						
1	C言語プログラムの概要/Javaとの違い、scanf/printf関数、変数、四則演算、for/ifなど基本構文						
2	一次元配列						
3	(char配列による)文字列の取り扱い、二次元配列						
4	関数1(概要、戻り値のない関数)						
5	関数2(戻り値のある関数)						
6	標準関数－文字列操作と関数						
7	中間試験						
8	ファイルの取り扱い						
9	ポインタ1(概要・整数型/char型のポインタ)						
10	ポインタ2(配列へのアクセス)						
11	ポインタ3(関数の引数としての受け渡しと戻り値)						
12	プリプロセッサ、前置インクリメント・デクリメント						
13	構造体1(概要、変数、代入)						
14	構造体2(構造体型のポインタ、リスト構造)						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計	
割合	80%			20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事 教員歴30年強、プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当							
【教科書・参考文献】							
プリントを配布							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	選択	C言語演習		砂賀 勝己	無	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
C言語文法で学んだ内容を、演習によってさらに理解度を深める。また、実際にプログラムを作成・実行することでプログラム開発の手順についても学習する。																					
【講義概要】																					
各回ともそのテーマに関する、基礎/確認となる問題を1～2問、発展的な問題を2～3問。応用問題を1～2問程度出題する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	C言語プログラムの概要/Javaとの違い、scanf/printf関数、変数、四則演算、for/ifなど基本構文																				
2	一次元配列																				
3	(char配列による)文字列の取り扱い、二次元配列																				
4	関数1(概要、戻り値のない関数)																				
5	関数2(戻り値のある関数)																				
6	標準関数－文字列操作と関数																				
7	中間試験																				
8	ファイルの取り扱い																				
9	ポインタ1(概要・整数型/char型のポインタ)																				
10	ポインタ2(配列へのアクセス)																				
11	ポインタ3(関数の引数としての受け渡しと戻り値)																				
12	プリプロセッサ、前置インクリメント・デクリメント																				
13	構造体1(概要、変数、代入)																				
14	構造体2(構造体型のポインタ、リスト構造)																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他()</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td></td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事 教員歴30年強。プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当																					
【教科書・参考文献】																					
プリントを配布																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	ローコード開発		坂東 佑一	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
<ul style="list-style-type: none"> ・近年注目を集めているノーコード・ローコードとは何かを理解し、その代表的なツールを体験する ・グループワークと発表会を通じ、コミュニケーションスキル及びプレゼンテーションスキルを向上する 																					
【講義概要】																					
<p>前半：Webサイト構築のためのローコードツールStudioを使い、個々人にてWebサイトを作成する。第5-6回にて発表会を行う。 後半：業務アプリ構築のためのローコードツールKintoneを使い、チーム単位でアプリ開発を行う。AIを駆使しながらプレゼン資料を作り、第11-12回にて発表会を行う。</p>																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	DX、ノーコード・ローコード開発とは、授業の進め方と評価方法、Studioの紹介																				
2	Studioを使ったWebサイト構築（個人作業）																				
3	Studioを使ったWebサイト構築（個人作業）																				
4	Studioを使ったWebサイト構築（個人作業）																				
5	作成したWebサイトの発表会（個人）																				
6	作成したWebサイトの発表会（個人）																				
7	Kintoneの紹介、簡単なアプリ作成練習（日報アプリ、一覧機能、Excelからのアプリ作成）																				
8	アプリのアイデア出し、開発（チーム作業）																				
9	アプリの開発、アプリを友人等に利用してもらいデータ収集（チーム作業）																				
10	発表スライド作成（チーム作業）																				
11	作成したアプリの発表会（チーム）																				
12	作成したアプリの発表会（チーム）																				
13	kintoneを使った事例動画の紹介、資格試験（ノーコードパスポート）の紹介																				
14	総合演習																				
15	総合演習																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（発表）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（補足）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること ・Studioを使った個人発表40点 + Kintoneを使ったチーム発表60点（チーム点30点、個人貢献点30点） 								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（発表）	合計	割合					100%	100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（発表）	合計															
割合					100%	100%															
【教員紹介】																					
慶應義塾大学理工学部情報工学科(学士)、東京大学大学院学際情報学府(修士) NTT研究所(2013-2015)、慶應義塾ITC(2015-2020)での勤務を経て2020年2月～現職、保有資格70種以上																					
【教科書・参考文献】																					
無し																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	アプリケーション演習		黒澤 純一	有	4単位 60時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

情報デザインに関する入門的、実験的な実習演習を行う。
情報を正確に他者に「伝える」事を意識し、受け手の多様性になども配慮したコンテンツを作成を行う。

【講義概要】

Adobeなどの各種アプリケーションを用いて基本的な操作方法を習得し、Web、DTP、動画制作の基礎を学ぶ。「伝わる資料」を効率よく作成するための手法を、基礎から応用まで幅広く学習し「伝える」表現の幅を広げる。

回	授業計画及び学習の内容
1	本講義の説明、Illustrator演習（名刺制作・自己紹介パネル制作）
2	Photoshop演習（ポスター制作、画像形式や解像度の理解）
3	Figma演習（DTP・Webデザインなど各種制作物の違い、架空アプリのデザイン・プロトタイプ作成）
4	Canva演習1（スライドなど各種制作の基本操作、デザインの敗北についてのワークスライド作成）
5	Canva演習2（デザインの敗北についてのワーク発表）
6	Premiere Pro演習1（動画編集の基礎に一通り触れる）
7	Premiere Pro演習2（ショート動画の制作課題）
8	AI×Web体験1（AIのAPIを使用したチャットボットの制作）
9	AI×Web体験2（続き AIのAPIを使用したチャットボットの制作）
10	YouTubeクリエイション実践（チャンネル作成・アップロード・管理、Vroidでモデル制作、OBSで配信）
11	作品制作課題1（制作内容の企画書作成）
12	作品制作課題2（制作・修正ブラッシュアップ）
13	作品制作課題3（成果物プレゼン・まとめ）
14	課題制作
15	課題制作

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%			50%		100%

（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

【教科書・参考文献】

講義内容に沿ったテキストの配布

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	セキュリティⅡ		仲 智弘	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
情報セキュリティマネジメント試験に合格する。							
【講義概要】							
IPA 公開のサンプル問題の解析、過去問演習。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	予想問題：科目B						
2	予想問題：科目B						
3	予想問題：科目B						
4	予想問題：科目B						
5	傾向と対策、計算問題の対策						
6	傾向と対策、計算問題の対策						
7	傾向と対策、計算問題の対策						
8	傾向と対策、計算問題の対策						
9	予想問題：科目A						
10	予想問題：科目A						
11	予想問題：科目A						
12	予想問題：科目A						
13	過去問演習						
14	過去問演習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	60%	0%	0%	40%	0%	100%	
(補足)	授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること 中間試験は実施しない						
【教員紹介】							
仲智弘：独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
情報処理教科書 出るところだけ！情報セキュリティマネジメント [科目A] [科目B] 2026年版							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	Linux I		鈴木 俊	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Linuxの利用に必要な基礎知識と基本操作方法（ファイル操作からシステム管理まで）を習得することを目標とする。																					
【講義概要】																					
各回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。各演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題（平常点）とする。また、復習としてのレポート・自習課題も提出とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Linuxのインストール																				
2	Linuxのコマンドライン操作の基本（ファイル操作）①																				
3	Linuxのコマンドライン操作の基本（ファイル操作）②																				
4	シェルのメタキャラクタ																				
5	標準入出力とリダイレクト																				
6	viエディタ																				
7	中間試験																				
8	パイプラインと grep コマンド																				
9	ユーザーとグループの管理																				
10	所有者管理とアクセス権																				
11	パッケージ管理																				
12	デバイスとファイルシステム																				
13	シェルスクリプト																				
14	バックアップとジョブスケジューリング																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験</th><th>小テスト</th><th>自習課題</th><th>平常点（演習課題提出）</th><th>その他</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>40%</td><td></td><td>10%</td><td>50%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験	小テスト	自習課題	平常点（演習課題提出）	その他	合計	割合	40%		10%	50%		100%
評価項目	試験	小テスト	自習課題	平常点（演習課題提出）	その他	合計															
割合	40%		10%	50%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等																					
【教科書・参考文献】																					
Linux I（ベーシック）-オリジナルテキスト																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	Linux II		鈴木 俊	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Linuxを使用したWebサーバー、DNSサーバー、メールサーバー構築の基本を習得することを目標とする。また、サーバー公開時におけるセキュリティ知識の基本を身につける。																					
【講義概要】																					
各回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。各演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題（平常点）とする。また、復習としての自習課題も提出とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Linuxのインストール																				
2	パッケージ管理																				
3	Webサーバーの構築（Apache Webページの公開設定）																				
4	Webサーバーの構築（Apache セキュリティ設定）																				
5	Webサーバーの構築（Apache SSLの利用、PHPとMariaDBの連携）																				
6	SSHの公開鍵・秘密鍵認証、ファイアウォールの設定																				
7	中間試験																				
8	DNSサーバー（BIND）の構築（DNS権威サーバー）																				
9	メールサーバーの構築（Postfix、Dovecotの利用）																				
10	メールサーバーの構築（MUAの利用）																				
11	メールサーバーの構築（SSLの利用）																				
12	総合演習①																				
13	総合演習②																				
14	総合演習③																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験</th><th>小テスト</th><th>自習課題</th><th>平常点（演習課題提出）</th><th>その他</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>40%</td><td></td><td>10%</td><td>50%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験	小テスト	自習課題	平常点（演習課題提出）	その他	合計	割合	40%		10%	50%		100%
評価項目	試験	小テスト	自習課題	平常点（演習課題提出）	その他	合計															
割合	40%		10%	50%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等																					
【教科書・参考文献】																					
Linux II（サーバー&セキュリティ）-オリジナルテキスト																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	LPIC/LinuC対策 I		太田 和也	有	2単位 30時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

Linux Essentialsを取得する

【講義概要】

CentOSの基本的な操作を習得していることを前提として、Linux Essentials試験対策に特化した知識の整理を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	パス、ユーザ、コマンドの基本書式
2	シェル変数と環境変数
3	ファイルとディレクトリの操作
4	テキストファイルの操作
5	アーカイブの作成展開、圧縮と解凍、テキストエディタvi
6	ここまでの復習
7	中間試験
8	スクリプトの基本
9	ハードディスク、各種ディレクトリの役割
10	ネットワーク基礎
11	ユーザとグループの管理
12	パーミッション設定、Linuxのアプリケーション
13	Linuxのディストリビューションとライセンス
14	ここまでの復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		40%			100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。

【教科書・参考文献】

特になし。授業中に独自に作成したプリントを配布する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	LPIC/LinuC対策Ⅱ		鈴木 俊	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
LPIC Lv1-101 資格試験合格に必要な知識を身につけることを目標とする。																					
【講義概要】																					
Linux シェルのコマンドライン操作、Linux システム管理（デバイスとファイルシステム、パッケージ管理）の基本を身につけていることを前提として、LPIC Lv1-101 資格試験の問題対策を行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	コマンドラインでの作業																				
2	基本的なファイル管理、ストリーム・パイプ・リダイレクトの使用																				
3	プロセスの作成、監視、終了、プロセスの実行優先度の変更																				
4	正規表現を使用してのテキストファイル検索																				
5	パーティションとファイルシステムを作成する																				
6	中間試験対策																				
7	中間試験																				
8	ファイルのパーミッションと所有権の管理																				
9	ハードウェア設定の決定と設定、システムを起動する																				
10	ハードディスクレイアウト																				
11	Debianパッケージ管理を利用する																				
12	RPM YUMパッケージ管理を利用する、仮想化ゲストとしてのLinux																				
13	期末試験対策																				
14	LPIC101 資格試験範囲全体の復習																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験</th> <th>小テスト</th> <th>自習課題</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験	小テスト	自習課題	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%		20%			100%
評価項目	試験	小テスト	自習課題	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%		20%			100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等																					
【教科書・参考文献】																					
教科書：翔泳社、中島 能和（著）、Linux教科書 LPICレベル1 Version5.0対応																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	AWS演習		松田 将典	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
クラウドコンピューティングで利用されるAWSについて、基礎から学び、自力で基礎的な環境が作れるようになる。																					
【講義概要】																					
世界で広く利用されているパブリッククラウドサービスやAWSについての基礎知識を学び、実際にAWSの環境にログインして操作しながら、知識や操作方法を習熟する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	システムの基本概念とクラウドの導入、AWSの基礎																				
2	前回の続き、コンピューティングサービスの基礎(EC2)																				
3	前回の続き、ネットワークサービスの基礎(VPC)																				
4	前回の続き																				
5	前回の続き、データベースサービスの基礎(RDS)																				
6	前回の続き																				
7	総合演習1(基本的な構築の復習)																				
8	総合演習1解説、ストレージサービスの基礎(EBS、S3)																				
9	前回の続き、セキュリティサービスの基礎(IAM他)																				
10	管理サービスの基礎(CloudWatch他)、コンピューティングサービスの応用(Lambda他)																				
11	ネットワークサービスの応用(ELB他)																				
12	総合演習2(Webシステムの構築)																				
13	総合演習2解説、ストレージサービスの応用(EFS他)、データベースサービスの応用(Aurora他)、他																				
14	まとめ1																				
15	まとめ2																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他()</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
SIerにて、金融系システム基盤開発等に従事し、システムエンジニアとしての一連のシステム開発工程を経験。																					
【教科書・参考文献】																					
オリジナルテキスト																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	データサイエンス		吉田 雅裕	有	2単位 30時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

Excelを用いたデータクレンジングの方法、データの正しい読み方、統計的手法を用いたデータ分析をできるようになる。実際のビッグデータに対して、データサイエンスの各種手法を適用できるようになる。

【講義概要】

ビッグデータの利活用が必須化している現代において、実際に大量のデータに接し、それを加工・分析・可視化するスキルが極めて重要となる。本講義では、Microsoft社の表計算ソフト『Excel』を用いて、演習を中心とした授業内容により、データサイエンスの基礎技術を習得する。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション
2	データサイエンスのプロセス
3	データ収集①（公開データ）
4	データ収集②（アンケート調査）
5	データクレンジング
6	データ集計
7	データ可視化
8	統計学基礎
9	統計的推定
10	統計的検定
11	連関分析
12	相関分析
13	データサイエンス演習①
14	データサイエンス演習②
15	データサイエンス演習③

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			100%			100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。

【教科書・参考文献】

参考文献：吉田雅裕，『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』，技術評論社，2023

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2026		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	AI基礎	吉田 雅裕	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報社会が抱える諸問題を多角的に分析・解明した上で、その問題の解決策を論理的に構築するために有用なデータマイニングの基礎技術の習得を目指す。実社会のビッグデータを対象に、データクレンジングの方法やAIの適用方法を学習し、データマイニングによって得られる結果を正しく理解するための論理的思考力を身に着ける。例として、身近な医療や保健のデータ、電子メールのデータ、スーパーマーケットの商品販売履歴などのデータを学習に利用する。日ごろ直感的に感じていることと、データマイニングでわかることを比較し、データマイニングに関するより深い理解を得る。

Pythonを使って、実際にデータマイニングを行うための具体的な方法論を習得する。Pythonを使って実際のビッグデータに対して基礎的な分析ができるようになる。データ分析結果の正しさを判断し、データサイエンスで論理的な主張を行えるようになる。

【講義概要】

膨大な非構造化データ、いわゆるビッグデータから、何らかの知見を導き出すデータマイニングについて学修する。連関規則、決定木、クラスタ分析、回帰分析、自己組織化マップ、ニューラルネットなどについて学び、ツールを用いることによっていわゆるAI（弱いAI）を活用することができる水準の技術を獲得する。機械学習についても、教師あり学習、教師なし学習、強化学習の特徴を把握し、自らが行う問題解決に際して、適切な方法を選択できる力量を養う。本講義では、プログラミング言語『Python』を用いたデータマイニングを行う。演習を中心とした授業内容により、データマイニングとAIの基礎技術を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション
2	Pythonプログラミング
3	データ収集
4	データ前処理
5	確率統計
6	統計的検定
7	A/Bテスト
8	アルゴリズム
9	回帰
10	分類
11	クラスタリング
12	レコメンド
13	時系列分析、自然言語処理
14	画像分析
15	データ分析コンペ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			100%			100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。

【教科書・参考文献】

吉田雅裕, 『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』, 技術評論社, 2023

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 選択	実習	市場調査&要件定義		山田 忍	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
卒業制作の実装・発表に直結する形で、企画の根拠づくりと要件定義を完成させる。																					
【講義概要】																					
卒業制作と並行して、市場調査を行い、得られた根拠に基づいた要件定義の作成を行う。 最終課題は卒業制作のレポートの提出。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	卒制テーマを確定・仮説検証																				
2	市場調査																				
3	競合分析																				
4	ユーザ調査																				
5	提案書作成																				
6	提案書作成																				
7	プレゼンテーション																				
8	要件定義																				
9	要件定義																				
10	プレゼンテーション																				
11	レポート作成																				
12	レポート作成																				
13	レポート作成																				
14	レポート作成																				
15	レポート作成																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>50%</td><td></td><td>50%</td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	50%		50%			100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	50%		50%			100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大学院にてコミュニケーションデザイン/グラフィックデザインについて研究。 専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事☒																					
【教科書・参考文献】																					
オリジナル教材																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	卒業制作 I		山田 忍	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
今までの学習のまとめとして、各自でテーマを決め、作品を完成する。作業は1~3人のグループで行い、プロジェクト管理についても経験する。最後に作品について発表し、論文を執筆し提出する。																					
【講義概要】																					
指導教員は、システムの全体設計に関わる相談、発表指導、論文指導を行う。評価は、発表を重視する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	チーム決め																				
2	テーマ決定、リーダー決定。テーマ発表準備																				
3	第1回 中間発表（テーマ発表）																				
4	中間発表の批評を受けてテーマの再検討、制作作業																				
5	制作作業																				
6	制作作業																				
7	制作作業																				
8	第2回 中間発表（制作システムの何らかの画面や機能を最低限1つは見せること）																				
9	制作作業																				
10	制作作業・発表準備・卒業論文執筆																				
11	制作作業・発表準備・卒業論文執筆																				
12	制作作業・発表準備・卒業論文執筆																				
13	第3回 卒業制作発表リハーサル（制作システムのデモを必ず含めること）																				
14	最終発表調整																				
15	第4回 卒業制作発表																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>70%</td> <td></td> <td></td> <td>30%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。																					
【教員紹介】																					
大学院にてコミュニケーションデザイン/グラフィックデザインについて研究。 専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事☒																					
【教科書・参考文献】																					
なし																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	選択	卒業制作Ⅱ		山田 忍	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
今までの学習のまとめとして、各自でテーマを決め、作品を完成する。作業は1～3人のグループで行い、プロジェクト管理についても経験する。最後に作品について発表し、論文を執筆し提出する。																					
【講義概要】																					
指導教員は、システムの全体設計に関わる相談、発表指導、論文指導を行う。評価は、発表を重視する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	チーム決め																				
2	テーマ決定、リーダー決定。テーマ発表準備																				
3	第1回 中間発表（テーマ発表）																				
4	中間発表の批評を受けてテーマの再検討、制作作業																				
5	制作作業																				
6	制作作業																				
7	制作作業																				
8	第2回 中間発表（制作システムの何らかの画面や機能を最低限1つは見せること）																				
9	制作作業																				
10	制作作業・発表準備・卒業論文執筆																				
11	制作作業・発表準備・卒業論文執筆																				
12	制作作業・発表準備・卒業論文執筆																				
13	第3回 卒業制作発表リハーサル（制作システムのデモを必ず含めること）																				
14	最終発表調整																				
15	第4回 卒業制作発表																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>70%</td> <td></td> <td></td> <td>30%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。																					
【教員紹介】																					
大学院にてコミュニケーションデザイン/グラフィックデザインについて研究。 専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事☒																					
【教科書・参考文献】																					
なし																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	Office実務Ⅱ		佐藤 薫	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
Office (Word、Excel、PowerPoint) の基本操作を定着させ、さらに応用機能を習得してスキルアップを目指す。さまざまな種類の文書を的確な機能を使って効率よく作成できるようになることと、業務に対応できる文書作成の応用力を付けることが目標。							
【講義概要】							
ExcelとWordはビジネスシーンを想定した課題を作成する。PowerPointはプレゼンテーション作成から発表準備までの機能を学ぶ。教科書 (Excel) 以外の内容は補足資料を配布。どの課題も文書の目的を意識して取り組み、最後に印刷プレビュー等で仕上がりを確認してから提出すること。修正点がある課題は修正後に必ず再提出すること。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Excel (新しい関数IFS、XLOOKUP、ワンランク上のショートカットキー)						
2	Excel (ゴールシーク、ブック管理)						
3	Excel 第1章の計算機能 (売上日報、売上実績表、交通費精算書)						
4	Word (ビジネス文書作成、複雑な表のある文書作成)						
5	Excel 第1章の計算機能 (在庫管理表、損益分岐点)						
6	Excel 第2章の集計機能 (在庫棚卸表、売上成績比較、全店経費集計表)						
7	Excel 第2章の集計機能 (クロス集計)、大きな表に役立つ機能						
8	Word (ビジュアルな文書作成、画像、SmartArt、図形の復習)						
9	PowerPoint (プレゼンテーションの新規作成、デザイン、レイアウト設定)						
10	PowerPoint (アニメーション効果、マスターの利用、発表者ツール)						
11	Excel 第3章のグラフ機能 (複合グラフ、ヒストグラム、グラフの活用)						
12	Excel 第5章のデータベース機能 (社員名簿、売上台帳、売上分析)						
13	WordとExcel (外部データの利用、差し込み印刷)、Excel 第4章のマクロ機能						
14	まとめ						
15	まとめ						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	
割合	80%			20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
専門学校でOffice系の科目、派遣会社で企業向けのOffice研修を担当。MOSやOffice関連の書籍の執筆も担当。							
【教科書・参考文献】							
<ul style="list-style-type: none"> Excel最強の教科書 (SBクリエイティブ) 1年次に使用したものを継続使用 Excel2021ビジネス活用ドリル (日系BP) 							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	基本情報科目A対策Ⅱ		太田 和也	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
基本情報技術者試験科目Aにおいて、合格水準の力を身につけることを目標とする。																					
【講義概要】																					
基本情報技術者試験の科目A及び旧午前試験の過去問題、公開問題、サンプル問題を中心に演習・解説を行う。 基本情報技術者試験科目A免除又は基本情報技術者試験を合格した場合は、本授業は免除とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	過去問演習																				
2	過去問演習																				
3	過去問演習																				
4	過去問演習																				
5	過去問演習																				
6	過去問演習																				
7	中間試験																				
8	過去問演習																				
9	過去問演習																				
10	過去問演習																				
11	過去問演習																				
12	過去問演習																				
13	過去問演習																				
14	過去問演習																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
IPAが公開している過去問題、サンプル問題																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎 必修	講義	基本情報科目B対策Ⅱ		坂井 剛	有	2単位 30時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験の科目Bへの対策を行う。

【講義概要】

科目B試験のサンプル問題や模擬問題を解かせ、解説を行う。
基本情報技術者試験（または応用情報技術者試験）の合格で本講義は免除となる。

回	授業計画及び学習の内容
1	科目B試験対策①
2	科目B試験対策②
3	科目B試験対策③
4	科目B試験対策④
5	科目B試験対策⑤
6	科目B試験対策⑥
7	中間試験
8	科目B試験対策⑦
9	科目B試験対策⑧
10	科目B試験対策⑨
11	科目B試験対策⑩
12	科目B試験対策⑪
13	科目B試験対策⑫
14	科目B試験対策⑬
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%

(補足) 単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。
授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

大学院卒業後、SEとして8年間開発業務に携わる。2010年より本校の教員として勤務。
基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、及び他の高度情報技術者試験を取得。

【教科書・参考文献】

「情報処理教科書 出るところだけ！基本情報技術者 [科目B] 第4版」 (翔泳社)
「令和08年 基本情報技術者 パーフェクラーニング過去問題集」 (技術評論社)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2026		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	ITパスポート対策Ⅱ	成田 与志子	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ITパスポート試験合格を目標とする

【講義概要】

ITパスポート試験の対策を行う。用語と問題を理解し、合格を目指す。

回	授業計画及び学習の内容
1	疑似言語
2	ストラテジ 企業と法務。 過去問練習
3	ストラテジ 経営戦略。 過去問練習
4	ストラテジ システム戦略。 過去問練習
5	ITパスポート 過去問題演習1
6	マネジメント 開発技術。 過去問練習
7	中間試験
8	マネジメント プロジェクトマネジメント。 過去問練習
9	マネジメント サービスマネジメント。 過去問練習
10	ITパスポート 過去問題演習2
11	テクノロジー 基礎理論。 過去問練習
12	テクノロジー コンピュータシステム。 過去問練習
13	テクノロジー 技術要素。 過去問練習
14	ITパスポート 過去問題演習3
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		10%	10%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

情報学部の教員として、現在に至る。

【教科書・参考文献】

いちばんやさしい ITパスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集 (SBクリエイティブ)
○ 過去問は授業中に配布する

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2026	2年 通年		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	選択	講義	セキュリティマネジメント対策Ⅲ	外部企業より派遣	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

国家試験 情報セキュリティマネジメント の試験対策講座。
原則として本試験の受験をすることを受講条件とする。

【講義概要】

半期に一度集中講義の形で開講。
社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。
Iと同じ内容だが、I受講者で資格未取得者は再度受講ができる。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	① 「情報セキュリティマネジメント試験の概要」 ・出題傾向と学習方法
4	② 「情報セキュリティ全般」 ・情報セキュリティの概念、マルウェア、パスワードの不正入手/不正利用
5	③ 「情報セキュリティ全般」 ・Webサイト利用者への攻撃、サービスの妨害/悪用、人的脅威/物理的脅威/その他の脅威
6	④ 「情報セキュリティ全般」 ・暗号化技術/認証技術、デジタル署名
7	⑤ 「情報セキュリティ対策」 ・マルウェア対策、不正アクセス対策
8	⑥ 「情報セキュリティ対策」 ・ネットワークセキュリティ、情報漏えい対策、その他のセキュリティ対策
9	⑦ 「情報セキュリティ管理」 ・情報セキュリティマネジメント、ISMS、リスクマネジメント
10	⑧ 「情報セキュリティ管理」 ・情報セキュリティインシデント管理
11	⑨ 「情報セキュリティ関連法規」 ・情報セキュリティ関連法規
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合				100%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 選択	実習	MOS対策Ⅲ		砂賀 勝己	無	1単位 15時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
マイクロソフトMOS資格の対策講座。 原則として資格試験の受験を目指すことを受講条件とする。							
【講義概要】							
模擬試験ソフトを使用し、繰り返し練習を行う							
回	授業計画及び学習の内容						
1	<p>模擬問題ソフトを繰り返し練習し、ランダム出題で80%以上の点数取得を目指す。</p>						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合				100%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2026	2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ	唐戸 民雄	無
単位・時間数 2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。

【講義概要】

言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。回数が前後する場合もある。

回	授業計画及び学習の内容				
1	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算1	文章題1(仕事算)	確認点スト1
2	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算2	文章題2(年齢算)	確認点スト2
3	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算3	文章題3(植木算)	確認点スト3
4	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算4	文章題4	確認点スト4
5	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算5	文章題5	確認点スト5
6	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算6	文章題6	確認点スト6
7	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算7	文章題7	確認点スト7
8	中間試験				
9	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算8	文章題8	確認点スト8
10	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算9	文章題9	確認点スト9
11	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算10	文章題10	確認点スト10
12	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算11	文章題11	確認点スト11
13	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算12	文章題12	確認点スト12
14	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算13	文章題13	確認点スト13
15	期末試験				

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配付する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅱ		Tope Salami	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
英語でパイソンプログラミングを学習し終了時には簡単なプログラミングができるようにする。																					
【講義概要】																					
TOPE先生が担当し英語で授業を行う。実際にパイソンを使いながら実習形式で授業を行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	自己紹介、英語の訳し方、伝え方、このクラスの目標																				
2	Introducing Python																				
3	Conversing with Python																				
4	Writing a Program (Python Script)																				
5	Writing a Program (Python Script)# 2																				
6	Review																				
7	Mid term test																				
8	Mid term review																				
9	Create your first Program																				
10	Create your first Program #2																				
11	Comments and Errors #1																				
12	Comments and Errors #2																				
13	Variables																				
14	Review																				
15	Final test																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	100%					100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
Tope Salami : IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計12年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。																					
【教科書・参考文献】																					
-																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2026	2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 選択	講義	表現技法	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

前半では日本語についての再確認をする。些細なことでもかまわないので、自分たちの言葉についての意識を持って欲しい。後半は、社会人として仕事していく上での基本、ビジネス文書について学ぶ。

【講義概要】

普段使っている日本語を見直す。また、ビジネスの現場での文書の意義、働き、流れ等を確認する。社会人としての基本を身につける。毎回、日本語の語彙に関する確認の小テストを行う。その他、適宜、講義内容に関連する新たな話題を紹介することもある。大きくシラバスから逸脱することはないが、内容が少し変わることもある。

回	授業計画及び学習の内容
1	表現とは何か
2	表現本能 表現行為 言語について
3	日本語について1 他言語との比較 日本語の特徴 語彙の面から①
4	日本語の特徴 語彙の面から② 表記の面から など
5	日本語の文体 音声言語と文字言語の相違
6	文章の構成 横書き原稿用紙の使い方
7	読点の付け方 中間試験対策
8	中間試験
9	ビジネス文書 概説 問題演習
10	ビジネス文書 社内文書① 問題演習
11	ビジネス文書 社内文書② 問題演習
12	ビジネス文書 社外文書① 問題演習
13	ビジネス文書 社外文書② 問題演習
14	ビジネス文書 まとめ 確認演習問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配布する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ		情報処理科 担当教員	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育みます。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。							
【講義概要】							
この授業はハイキングと学園祭の参加を以て評価します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1							
2	春のハイキング						
3							
4							
5	学園祭準備（1日目、2日目）						
6							
7							
8	学園祭（1日目）						
9							
10							
11	学園祭（2日目）、後片づけ						
12							
13							
14	秋のハイキング						
15							
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合				100%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
-							